

【注意】入試への出願の際は大学 HP (<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/21daigakuin.html>) に掲載の募集要項をご確認ください。

経済学研究科博士前期課程

(1) 開設授業科目(予定)は次のとおりです。

経済社会政策専攻

国際経済コース

- ・ 国際経済論特研
- ・ 開発経済論特研
- ・ 証券市場論特研 I
- ・ 国際金融論特研 I
- ・ 国際金融論特研 II
- ・ 証券市場論特研 II
- ・ 国際貿易論特研
- ・ EU政治経済論特研 I・II
- ・ アジア経済論特研
- ・ 経済史特研 I・II
- ・ 西洋経済史特研 I・II
- ・ 多文化共生社会特研
- ・ 異文化間コミュニケーション論特研
- ・ 経済学史特研
- ・ 経済思想史特研
- ・ 多言語共生社会特研 I・II
- ・ 経済統計論特研 II

政策科学コース

- ・ マクロ経済学特研 I
- ・ ミクロ経済学特研 I
- ・ 公共経済論特研
- ・ 課題研究
- ・ マクロ経済学特研 II
- ・ ミクロ経済学特研 II
- ・ 経済政策論特研
- ・ 政治経済学特研 I・II
- ・ 財政学特研 I・II
- ・ 租税法特研 I・II
- ・ 産業組織論特研
- ・ 社会政策論特研
- ・ 労使関係論特研
- ・ 労働経済論特研
- ・ 経済統計論特研 I
- ・ 計量経済学特研
- ・ ゲーム理論特研

地域経営政策専攻

地域政策コース

- ・ 地域発展論特研
- ・ 交通論特研
- ・ 農村発展論特研 I
- ・ 地域産業論特研
- ・ 課題研究
- ・ 地域経済学特研
- ・ 経済地理学特研
- ・ 地域構造論特研
- ・ 農村発展論特研 II
- ・ ロジスティクス論特研
- ・ 自治体経営論特研 I・II
- ・ 情報社会論特研
- ・ 憲法特研 I・II
- ・ 地方財政論特研 I・II
- ・ 現代社会分析論特研
- ・ 地域政策論特研
- ・ 地域経営論特研

マネジメント(MBA)コース

- ・ 経営組織論特研 I
- ・ マーケティング論特研 I
- ・ 経営情報論特研
- ・ ベンチャー・技術経営論特研
- ・ 経営組織論特研 II
- ・ マーケティング論特研 II
- ・ ビジネスモデル論特研
- ・ 比較経営史特研
- ・ 経営管理論特研 I・II
- ・ 経営戦略論特研 I・II
- ・ 企業論特研 I・II
- ・ 国際経営論特研 I・II
- ・ 経営シミュレーション特研 I・II
- ・ 企業ファイナンス論特研

会計・法務コース

- ・ 管理会計論特研
- ・ 株式会社会計論特研
- ・ コストマネジメント論特研 I
- ・ 民法特研 I
- ・ コーポレート・ガバナンスと会計制度特研
- ・ コストマネジメント論特研 II
- ・ 民法特研 II
- ・ 労働関係法特研 I・II
- ・ 会社法特研 I・II
- ・ 財産法特研
- ・ 財務諸表論特研
- ・ M&A 戦略と会計制度特研

共通科目：国際コミュニケーション特研、基礎法学、日本の経済と経営

(2) 演習

担当教員及び演習の内容は次表のとおりです。

経済社会政策専攻

《国際経済コース》

演習名	担当教員職・氏名	演習の内容
国際経済学演習 (I. II. III. IV)	准教授 柴田 茂紀	国際経済学を基礎にしなが、グローバル経済の現実を分析する手法を学びます。主な研究対象は、国際経済システムの変遷や、世界経済の現状分析、各国経済の比較分析になります。国際経済に関する問題点がこれまでいかに解決されてきたのか、またはいかに解決されないまま問題が残されているのか分析・検討していきます。
国際金融論演習 (I. II. III. IV)	教授 小笠原 悟	米国のサブプライム・ローン問題がなぜ世界的な金融危機に発展したのでしょうか。過去の国際的金融危機の事例と比較しながら理論と実証面から分析します。特に、金融自由化と国際資本フローに焦点を充て、このメカニズムを検討します。
EU政治経済論演習 (I. II. III. IV)	教授 スティーブン デイ	Understanding European Integration The goal of this seminar will be to explore both the theoretical and empirical dimensions associated with the process of European integration. It will look at developments from the formation of the European Coal and Steel Community (ECSC) in 1951 to the present day and in so doing it will introduce learners to the myriad of theoretical approaches (including neo-functionalism, liberal intergovernmentalism and constructivism) that have sought to explain this process.
経済史演習 (I. II. III. IV)	教授 市原 宏一	経済史研究の到達点と課題について総括的に概観するとともに、今日重要な位置を占めるに至った「世界システム」論ないしは「中心＝周辺」概念に依拠する研究動向を題材とした分析・検討を行います。
西洋経済史演習 (I. II. III. IV)	教授 城戸 照子	本演習では、都市＝農村関係を分析視角とした近年の西洋経済史の研究動向を概観し、その展開と深化を辿ります。その際、主たる対象領域は、今までヨーロッパの中では非定型的だと考えられてきた南欧封建社会とします。中心となる課題は、農村市場・流通・商人家系です。
開発経済学演習 (I. II. III. IV)	准教授 木村 雄一	開発経済学（ミクロ実証：教育、健康、出産など家計の意思決定などが中心）とアジア・アフリカの経済発展と開発に関する現実問題、加えて修士論文のための実証研究の方法を扱います。

演習名	担当教員職・氏名	演習の内容
文化動態論演習 (I. II. III. IV)	准教授 久保田 亮	人間の認知や行動に大きく作用する文化を研究するための理論や方法論を学習し、ヒト、モノ、情報がグローバルに移動する現代における人間と文化の関係性を事例研究を通して解き明かしていきます。具体的な研究トピックについては、受講生の関心を尊重します。
多言語社会政策論演習 (I. II. III. IV)	教授 包 聯 群	本演習では、とりわけ多言語・多文化共生社会とは何かを理解し、その上、社会言語学理論を把握し、研究及び地域社会活動（企業・観光・医療・災害言語サービス等）にそれらを如何に活かすかを学びます。 また、院生の研究テーマにそって修士論文の指導を行います。
経済統計論演習 (I. II. III. IV)	未 定	未 定
経済学史演習 (I. II. III. IV)	未 定	未 定

《政策科学コース》

演 習 名	担当教員職・氏名	演 習 の 内 容
マクロ経済学演習 (I. II. III. IV)	准教授 宇野 真人	内生的経済成長理論の最近の展開を追うとともに、理論モデルの構築とその推定・検証により、「一国の経済成長に必要な要素は何か?」、「成長を促すような政策は何か?」を考えます。
ミクロ経済学演習 (I. II. III. IV)	准教授 村山 悠	経済を構成する家計・企業・政府の経済活動を幅広く学習することにより、ミクロ経済学の基礎・考え方を習得します。また、習得した知識を用いながら、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。
経済政策論演習 (I. II. III. IV)	教授 高見 博之	経済政策論を考察するのに必要なミクロ経済学、マクロ経済学、経済数学の分析道具の修得を目的とします。 また、習得した理論と分析手法の展開を促し、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。
社会政策論演習 (I. II. III. IV)	教授 石井 まこと	賃金・労働時間、雇用、労使関係、社会保障・社会福祉にまたがる広範な領域を対象に、その歴史・現状を分析し、現代社会の課題を研究していきます。本演習では既存の良質の研究成果をもとに議論を発展させていくことを方針としています。
財政学演習 (I. II. III. IV)	准教授 小野 宏	本演習では計量経済学的手法を用いて、主に財政学・財政政策に関する諸問題について検討を行います。具体的なテーマとしては、財政赤字、公共投資などを考えています。
租税法演習 (I. II. III. IV)	教授 米村 忠司	本演習では、租税法の研究に必要な専門知識の習得と課題の把握能力の養成を行います。また、研究課題の発掘や検討など修士論文の作成に向けての研究指導を行います。
政治経済学演習 (I. II. III. IV)	未 定	未 定
財政理論演習 (I. II. III. IV)	未 定	未 定

地 域 経 営 政 策 専 攻

《地域政策コース》

演 習 名	担当教員職・氏名	演 習 の 内 容
地域発展論演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	教授 宮町 良広	地域発展論・経済地理学の分野の中で、受講生の研究テーマに即して指導を行います。地域産業構造の観点から、地域開発や国土構造をマクロに理解するための基礎的な理論を研究します。 また、習得した理論と分析手法の展開を促し、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。
情報社会論演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	教授 豊島 慎一郎	本演習では、情報とコミュニケーション、市民社会の関係について社会学の立場から理論的に検討します。毎回の基本文献に関する報告と討論によって理解を深め、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。
経済地理学演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	教授 大呂 興平	産業立地や地域開発などに関する経済地理学の基礎的な理論をふまえた上で、地域経済の態様や国土構造を把握し、それが人々の生活とどう関わっているのかを実証的に分析する能力を身につけることを課題とします。
農村発展論演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	准教授 山浦 陽一	農業経済学、農村社会学、農村計画学等の分析手法を用いて、農山村の諸課題を総合的に研究し、政策への反映、地域での実践を目指します。①特定の地域での濃密なフィールドワーク、②地域での課題に対応した学際的、分野横断的な分析視角、③研究と実践の融合、がコンセプトです。
憲法演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	教授 青野 篤	本演習は、国家と個人・団体の法的諸関係を憲法学の見地から理論的に分析することをねらいとします。外国法を含め、関連する学説や判例の丹念な検討を通じて、修士論文の作成につなげていきます。
交通論演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	教授 大井 尚司	交通事業の経営、交通に関係する地域問題、インフラ整備、観光、公益事業、物流などのテーマについて、経済学・経営学・交通計画学的な視点から、理論・実証（定量）的な分析を行えるよう、研究指導を行います。
地域経済学演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	准教授 川崎 晃央	本演習では都市、あるいは地域が抱える様々な経済問題についてミクロ経済学の手法を用いて、理論的に分析することをねらいとします。都市や地域を扱う様々なモデルがある中で受講者が興味・関心をもつ問題にアプローチするための経済モデルを理解し、それを応用して分析できるよう、研究指導を行います。
自治体経営論演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	准教授 高島 拓哉	本演習では、地域社会において住民が抱える諸問題への対処にむけて地方自治体に求められている課題について、地域社会学・社会福祉学・行政学・政治学などにもとづいて理論的に分析することをねらいとします。
地方財政論演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	准教授 林 勇貴	本演習では、地域活性化に向けた公的部門のあり方など、地域の社会経済問題や財政問題を取り上げ、望ましい解決策を研究します。そのために理論分析やデータを用いた実証分析のスキルを習得することを目指し、院生の研究テーマにそって指導を行います。
地域経営論演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	未 定	未 定

《マネジメント (MBA) コース》

演 習 名	担当教員職・氏名	演 習 の 内 容
企 業 論 演 習 (I. II. III. IV)	教 授 河 野 憲 嗣	企業という存在に着目して、その本質は何か、あるいは現代社会における課題と可能性について、経営学の観点から考察を進めます。後半は受講生の修士論文テーマにそって研究指導を行います。
比 較 経 営 史 演 習 (I. II. III. IV)	教 授 渡 邊 博 子	日本経済の現状分析や歴史的展開、ならびに日本経済の成長を支えている(支えてきた)産業や企業を対象に、そのイノベーション過程や発展戦略の調査・研究を行います。また、世界の中での日本の位置づけを理解し、国際間地域間比較等も進め、修士論文作成に向けた指導を行います。
経 営 管 理 論 演 習 (I. II. III. IV)	教 授 藤 原 直 樹	本演習では、経営管理論ならびに経営経済学に関する基本的な文献を輪読していきます。学説史的アプローチにより、経営管理論に関する理論的な知識の習得をめざします。 その上で、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。
経 営 戦 略 論 演 習 (I. II. III. IV)	准教授 仲 本 大 輔	現代企業の経営戦略に関する諸問題を研究します。前半は、経営戦略論を中心とする経営学の代表的な文献を読み、基本的な理論フレームワークを習得します。そして、習得した視座をもとに事例の分析と考察を行います。後半は、受講者が選定した経営戦略論に関連する研究テーマに沿って研究指導を行い、修士論文の作成につなげていきます。
マ ー ケ テ ィ ン グ 論 演 習 (I. II. III. IV)	教 授 松 隈 久 昭	現代企業のマーケティング行動を理論的に整理します。その後、事例研究を行い、マーケティングによる競争優位性の確立と維持を実証的に分析します。また、受講生が選択したマーケティング論に関する研究テーマについて、文献・資料の収集や整理など、修士論文作成に必要な指導を行います。
経 営 組 織 論 演 習 (I. II. III. IV)	教 授 本 谷 る り	本演習では、前半は経営組織論の基本的理論を習得し、企業の抱える現代的課題を明確にします。同時に分析手法についても学びます。後半は受講生の研究テーマに即して修士論文作成に向けた研究指導を行います。
経 営 シ ュ レ ー シ ョ ン 演 習 (I. II. III. IV)	准教授 松 谷 葉 子	本演習では、前半は各自ビジネスプランを策定し、各々のプランに必要な経営学的課題は何か、事例などをもとに調査研究を進め、実現へ向けた可能性を探ります。後半では、各受講生の研究テーマごとに、修士論文完成へ向け、必要な指導を行います。
人 事 シ ス テ ム 論 演 習 (I. II. III. IV)	未 定	未 定
産 業 ・ 組 織 心 理 学 演 習 (I. II. III. IV)	未 定	未 定
国 際 経 営 論 演 習 (I. II. III. IV)	未 定	未 定

《会計・法務コース》

演習名	担当教員職・氏名	演習の内容
株式会社会計論演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	准教授 山根 陽一	本演習では、財務会計の知識に基づき、株式会社の財務会計における課題について考察を深めることを目的に研究指導を行います。前半は、研究の前提となる代表的な文献や分析手法を習得するためのサーベイを行い、修士論文のテーマを選定します。後半は、研究テーマに即して修士論文の作成に向けた研究指導を行います。
会計制度論演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	准教授 中村 美保	どのような会計制度を設計するかにより、企業経営者・利害関係者・投資家の行動は変化し、国家全体としての経済的帰結も変化してきます。本演習では、我が国のみならず、各国の会計制度を対象として、財務会計の制度設計のあり方を議論していくことをねらいとしています。あわせて修士論文執筆のための指導をしていきます。
コストマネジメント論演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	教授 加藤 典生	現代企業で扱われるコストマネジメントの理論・手法について理解を深め習得するとともに、企業戦略、従業員のモチベーション、顧客心理などにも着目しながら、その有用性を検討していきます。これらの学習をもとに受講生と相談の上で修士論文のテーマを選定し、研究指導を行います。
民法演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	准教授 秋山 智恵子	本演習では、民法（財産法）分野の論点について、判例および学説の分析により現在までの理論的な到達点を確認するとともに、外国法との比較などから日本法の問題点を考察し、修士論文を執筆するための研究指導を行います。
労働関係法演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	准教授 小山 敬晴	本演習では、労働法の判例および学説の分析により現代の労働問題を考察することを主な目的としますが、この分析の前提として、基礎法学的視点、法的思考方法、法解釈の方法、比較法の方法を身に着ける必要があります。このように総合的複眼的視点から労働問題を捉える素養を身に着けることを通して修士論文を執筆するための研究指導を行います。
民事法演習 (Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ)	准教授 亀岡 鉦平	本演習では、財産法分野に関連した社会課題について分析・考察します。考察の方法としては、通常の実定法学の研究手法である判例を素材とした法解釈学のみには傾斜するのではなく、現実における法運用や法適用あるいは政策論に対する洞察を踏まえた法社会学的方法を重視したいと考えています。